

第2回 JET 地域国際化塾
～JET 青年による地域活動への参加について～

総務省自治行政局国際室

平成29年10月4日（水）～6日（金）の3日間にわたり、「JET 青年による地域活動への参加」をテーマとして第2回 JET 地域国際化塾を茨城県で開催しました。

本事業は、JET プログラムにより招致した外国青年と地域活動に取り組む地域住民との交流の場をつくり、JET 青年の地域活動への一層の参加を促進することを目的として、茨城県と共催で実施したものです（第1回 JET 地域国際化塾は平成27年度に石川県で開催）。

1. 趣 旨

人的交流プログラムである JET プログラムにおいて、参加者は、地域社会との関わりを積極的に持つことを通じ、日本社会や日本人についての理解を深めるとともに、帰国後は日本と母国の架け橋となることが期待されている。

一方で、外国人である JET 青年は語学面等の理由により、自らの力のみで日本の地域活動を理解し、参加可能な活動と出会うことは容易ではない。

このため、JET 地域国際化塾では、JET 青年に対し、グループワークなどを通じて地域活動について理解する機会を提供し、今後の地域活動への参加を促進することを目的としている。

2. 日 程

平成29年10月4日（水）から10月6日（金）まで

3. 会 場

茨城県市町村会館 など

4. 参加者

約60名

JET 青年（茨城県内 JET、県外 JET、A-JET 代表、JET-OB）

自治体（国際関係部局）・地域活動関係者（学者、地域おこし協力隊 等）

プログラム

1日目

○オープニングガイダンス

JET地域国際化塾の趣旨や流れを説明

○基調講演

茨城大学人文社会科学部西野由希子教授による「日本の地域活動について」の基調講演により、日本の地域活動についての概念を把握する

○グループディスカッション

JET青年同士で互いの地域活動経験を共有

○グループワーク(1)

地域活動の中でJET青年が果たせる役割について仮説を設定



2日目

○現地視察(県北方面、県南方面)

地域活動の現場を視察し、グループワークで立てた仮説を検証

・県北コース視察先

- ・西塩子の回り舞台保存会(常陸大宮市)
- ・茨城町地域おこし協力隊(茨城町)
- ・借楽園外国語観光ボランティア(水戸市) など

・県南コース視察先

- ・結いプロジェクト(結城市)
- ・北条街づくり振興会(つくば市)
- ・真壁街並み案内ボランティア(桜川市) など



○グループワーク(2)

視察結果を踏まえ、テーマである「JET青年による地域活動への参加」について、班別に話し合い、地域活動への自らの参加イメージを具体化



3日目

○成果発表

JET地域国際化塾を通して自ら考えた内容を班別に発表し、共有することで、各自の地域活動への参加に対するイメージを広げる



成果発表の概要

JET青年が地域活動において果たせる役割

- JET青年が持つネットワークや言語能力を活かして地域活動の情報をSNS等、インターネットを活用して外国人向けにも発信し、地域活動の普及・拡大へつなげること。
- 地域活動に外国人の視点など幅広い価値観を取り入れることで、外国人観光客の誘客のヒントにするなど、JET青年の持つスキルを地域活動へ活かすこと。

JET青年が地域活動に参加する上で感じること

- 地域活動等のイベント情報は、ポスター等の紙媒体で日本語のみでの提供が多く、JET青年が情報にアクセスすることは困難。
- 外国人による地域活動への参加に対して、地域住民が受け入れてくれないのではないかという不安。

JET青年が地域活動へ参加するためにすべきこと

- 日頃から地域に住む方々とコミュニケーションを取ることで、地域の人たちに自分たちの存在をアピールし、地域活動等の情報が入りやすいようにすること。
- 自ら県庁、市役所、または学校等からイベント情報を入手したり、周りにいる地域の人から情報収集をすること。
- JET青年各自において日本文化について理解を深めること。
- 日頃から定期的に地域活動へ参加するなどして、地域活動関係者とのつながりをつくること。